



学校再開

白子中学校通信

TEL 386-0336
FAX 388-0340

白子中学校ににぎやかな生徒の声が届いてきました。やはり、学校は子どもたちがいないと、とても寂しい場所です。生徒の皆さんが安心して集まってくこそ、学校といえるのだと改めて実感できた瞬間でした。

新型コロナウイルス感染症防止のため、二ヶ月以上もの間、市内の小中学校は臨時休校となっていました。学校再開に際し、全ての都道府県の非常事態宣言は解除されましたが、今後も社会全体が、長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生きていくという認識に立ち、白子中学校においても引き続き感染症対策を適切に講じながら「学校の新しい生活様式」の中、生徒の皆さんの学びを保障していきたいと思えます。



基本的な感染症対策の実施

家庭での注意事項 学校内にウイルスをできるだけ持ち込まないよう心がけることがまず大切になります。そこで白子中学校からそれぞれの生徒に渡した「健康観察表」により、毎朝の検温や体調の様子を確認します。発熱等や風邪の症状がある場合は、自宅で休養してください。また、学校での発熱や風邪の症状が出た場合は、速やかに帰宅させるのを基本とします。

学校での注意事項

学校での飛沫感染や接触感染を防ぐために、手洗いを徹底して行います。登校した直後や、教室からの出入り、トイレはもちろんのこと、給食前など徹底した手洗いが基本となります。三つの密（密閉空間・密集場所・密接場面）を避けるよう指導するとともに、マスクの着用はもちろんのこと、咳エチケットを守り、給食配膳時や学習状況により、鈴鹿市から配布されたフェイスシールドを着用し



交通事故 発生!

先日の朝、旭が丘1丁目交差点で白子中学校生徒の自転車と自動車が出合い頭に衝突する交通事故が発生しました。急いで登校しようとした生徒の一旦停止無視による飛び出し事故です。幸いにも擦り傷と打撲で大きなけがをすることはありませんでしたが、車のフロントガラスが割れるほどの衝撃で、一つ間違えれば命の危険もあった事故でした。

昨年度から、生徒会が中心となり、交通事故撲滅に取り組んでいます。また、交差点では一旦停止をするよう再三注意しています。交通事故はいつも隣り合わせにいます。それぞれの生徒が主体的に交通安全に取り組んでいく必要があります。

不足した授業の補完

まず。生徒の帰宅後は、教員により教室の机や椅子、ドアノブなどの除菌を行います。
また、これから徐々に再開されていく部活動でも、感染症対策を可能な限り行っていきます。

鈴鹿市の小中学校では、新型コロナウイルス感染防止の観点から、二ヶ月以上の臨時休業を行いました。この間の授業をできる限り補おうと「5月の分散登校時の授業」「家庭訪問と一学期中間テストの中止」「体育祭の延期」「オンラインによる遠隔授業」などにより授業内容を補完してまいりましたが、六月一日現在、約三週間分の授業時数の不足があります。今後も補完が必要な授業内容につきましても、更なる学校行事の精選等により、行事そのものの時間はもとより、学校行事準備のための時間を不足している各教科

新型コロナウイルス感染症にかかる 差別や偏見の防止

新型コロナウイルス感染症は、多くの人たちに不安と恐れを感じさせました。ワクチンや薬の開発が未だに確立されていない見えないウイルスに人々は怯えを感じています。そんな、不安や恐れを持った人たちの一部は、生き延びようとする本能が自然と働き、ウイルス感染症にかかわる人たちを、遠ざけようとしたり、差別しようとしたりして、つかの間の安心感を得る行動をとることがあります。

このような、差別や偏見が生まれないように、まずは確かな情報により、自分の言動を見つめなおす必要があります。自分が、差別的な言動に同調していないか確認するとともに、自分の安全や健康のために必要なことを自分の力で選択することが大切になります。自分自身の力で安心感を勝ち取ることが、新型コロナウイルス感染症に打ち勝ち、差別や偏見の防止に繋がります。



の授業に置き換えるなど学習活動の重点化により補っていきます。
さらに、ICTを活用したオンライン遠隔授業や土曜授業を活用するなどして今年度中には不足した授業内容を補完できるようにしていきます。